

# ウッディエイジ（木材の研究と普及）1991年総目次

## ★対談など

- 年頭のごあいさつ 3. 1
- 国際派青年経営者おおいに語る 3. 1  
—国際化時代，変質の時代に生きる—
- 国際派青年経営者おおいに語る（続） 3. 2  
—国際化時代，変質の時代に生きる—
- どう進むか，これからの林産業—森林資源との関連において 3. 3
- 転換期の世界経済と地域経済の再生期待される北海道の役割（1） 3. 4
- 転換期の世界経済と地域経済の再生期待される北海道の役割（2） 3. 5
- 北海道の住宅における木質内装材の生産と利用 3. 6
- 木材を効果的に使うために 3. 7  
～デザインの現場から～
- 構造用製材の日本農林規格の制定 3. 8
- 木材産業における金融支援制度について 3. 9  
—乾燥施設などの設備投資を対象に，本道木材産業の振興を図るため—
- 家具のデザイン傾向と材料について 3. 10  
—37th旭川木工祭から—
- 木材および木質材料に対する耐火性能の付与—2，3の試み— 3. 11
- 床騒音の現状と問題点 3. 12

## ★特集

- 「木材高度利用複合化システム」
- 木造住宅資材生産工程のFA化と木材資源の総合利用 3. 7
- 自動形状選別装置の開発 3. 7
- 連続型自動水分測定装置の開発 3. 7
- 北国型木造住宅工法と住宅資材の開発 3. 7
- 連続型混合・成形装置の開発 3. 7

## ★総説

- カナダ・アメリカを旅して 3. 1  
—生活の中の木・樹—
- 家の中のホコリに住むカビ 3. 2
- 針葉樹製材乾燥についてのアンケート調査結果 3. 3
- ミズナラとその仲間たち 3. 4
- 外材と道産材 3. 5  
—材質による比較（針葉樹材）—
- 欧米における木材利用の現状について（1） 3. 6
- ストロブマツの材質と利用 3. 8
- ロールコアの思い出とハニコム 3. 9
- 欧米における木材利用の現状について（2） 3. 9
- 人工乾燥コストが20%以上安くなる 3. 10
- 北海道における広葉樹材の乾燥—林産試験場の開発技術— 3. 10
- 欧米における木材利用の現状について（3） 3. 10
- 木質ボード類の性能（1） 3. 12

## ★研究の解説・紹介

- 木材の耐朽性を向上する化学加工の効用 3. 1
- エゾマツ・トドマツ製材の曲げ強さ 3. 2
- カラマツ間伐材を利用した漁礁 3. 3
- キノコがトドマツを嫌うわけ 3. 3
- 針葉樹建築用乾燥材の吸水について 3. 4
- ナナカマドは，火に強いかな 3. 4  
—木材の種類と火災時の安全性—
- カラマツの単板切削 3. 5
- 単板のフィンガージョントについて 3. 5
- トドマツ人工林材の構造用材料としての品質 3. 6  
—現行の農林規格と新規格との比較—
- 道南スギを用いたWPCの製造 3. 8
- 木製サイディングの屋外暴露試験と施工例 3. 11

- ゴムチップと木質チップによる遮音床材の性能 3. 11
- 簡易な積積み基礎（架台）の作り方 3. 11
- 中小径アオシナ材の単板切削 3. 12

★林産試情報（林産試験場報の紹介）

- 北海道産針葉樹樹葉の水溶性成分 3. 1
- 針葉樹材の単板切削試験（第2報）  
—刃口条件と切削単板厚さ— 3. 1
- 北海道の住宅におけるハウスダスト中のカビ 3. 1
- ビフェニル型リグニンモデル化合物芳香族炭素の化学シフトに及ぼす置換基の影響 3. 1
- ヒノキ辺材と染色シナノキの光変色と変色防止 3. 3
- 含水有機溶媒による木材の脱リグニン  
—シナノキ材の脱リグニンに及ぼすルイス酸の効果— 3. 3
- ゴムチップと木質チップとの成形マットの床衝撃遮音性能（第1報） 3. 3
- マイコンによる製材業の生産管理 3. 3
- タモギタケによる稲わらの飼料化 3. 5
- カラマツLVLの水に対する性質（第6報）  
—吸・放湿特性と水分拡散係数— 3. 5
- トドマツ有節材の正面フライス削り 3. 5
- 機械パルプおよびリグニンモデル物質の光変色抑制に及ぼすポリエチレングリコールの効果 3. 5
- カラマツ類品種の材質（第3報） 3. 5
- 道南産材の材質（第1報）  
—スギの材質— 3. 9
- リグノセルロースのヒドロゲル化（第1報）  
—ゲル化のための前処理— 3. 9
- 道南カラマツ中・大径材の利用試験  
—デッキ材の製造— 3. 9
- 中小径アオシナ材の単板切削 3. 9
- 道南産材の材質（第2報） 3. 11

- ヒバの材質—
- 加振型縦・横同時プレス装置の性能試験 3. 11
- リン酸化木材の重金属吸着能 3. 11
- 防腐処理カラマツ丸太の野外暴露19年目の結果 3. 11

★シリーズ 技術移転その後

- 「技術移転その後」を始めるに当たって 3. 2
- 木製サッシ 3. 2
- マイコンによる乾燥の自動化 3. 3
- 食用キノコの栽培技術 3. 4
- アルカリ処理による木材の可塑性 3. 5
- ログハウス 3. 6
- 農林水産業用PT型ハウスの開発 3. 7
- 木製遊具 3. 8
- 木製トラスの設計と実用化 3. 9
- 道産針葉樹防腐土台の製造技術 3. 10
- 難燃パネルボードの製造技術 3. 11
- パネルボード 3. 12

★技術のおたずねにこたえて

- 筋子の木材臭について 3. 4
- 蒸気式乾燥装置のエネルギー費節約 3. 6
- クマイザサを原料として 3. 9
- 木製ベンチの座板や背板に木材保護着色剤を使った時の耐朽性について 3. 10
- 木炭の利用について 3. 12

★内外の話題

- 菌床栽培シイタケの収量 3. 1
- 丸太の護岸 3. 2
- 複合木質材料のレーザー切削 3. 3
- プレス乾燥材の注入性 3. 3
- のこ屑栽培用のシイタケ菌 3. 3
- シロアリと共生する原生動物のはたらき 3. 3
- 17年間水没していたトウヒの化学組成 3. 4
- ヨーロッパ規格の標準化 3. 4

- 水性防腐処理木材の塗装 3. 5
- 新しいふっ素系木材保存剤 3. 6
- 材料を選別する人工視覚 3. 6
- 木材業界発展の切札 3. 9
- 木材工業のコンピュータ管理 3. 9
- 6価クロム／ワニス乳化塗料の耐候効果 3. 10
- バレット材の自動選別 3. 11
- オーストリアとEC各国の木材加工教育 3. 12
- 発掘オーク材の収縮と材色の復元 3. 12
- 集成窓の製造 3. 12
- 美しく信頼性ある集成材の接合 3. 12

★行政の窓

- ガット「ウルグアイ・ラウンド」について 3. 1
- 木材需要拡大の取り組み 3. 2
- 平成3年度北海道木材需給見通し 3. 3

- 木材の需要拡大のための資料 3. 6

★木材あらかると

- きのこ 3. 1

★木材価格の動きなど

- 木材価格の動き（旭川市場） 3. 2, 3. 6, 3. 11
- カラマツ材の動き 3. 2, 3. 6, 3. 11

★その他

- 木になる話 3. 3
- 平成3年度林産試験場の試験研究のあらまし 3. 8
- 林産試験場の技術支援体制のあらまし  
—技術指導制度がスタート— 3. 8

(目次)

1991年12月



北海道林業研究所

〒060-0801 札幌市中央区南一条西五丁目

TEL 011-832-2111 FAX 011-832-2112